



筑波宇宙センター特別公開に訪れた層から考える新たな教育普及・広報活動の提案

2018年9月29日（土）「あなたも1日広報部員」レポート

大学3年生 女性

レポートの目的

- 筑波宇宙センター特別公開の来場者数を増やす
- JAXAの事業の支援者を増やす
- 後進を増やす

教育普及・
広報活動

→筑波宇宙センター特別公開に訪れた層

= JAXAの事業に興味がある層

→分析、新たな企画を提案

※印象であり、データを根拠にしているわけではない。

筑波宇宙センター特別公開 客層



①親子連れ



②高齢者



③中高生

親子連れ（未就学児～小学生）が最も多く、次いで高齢者（夫婦、グループ）中高生。中高生の割合は高くない。

各層の特徴、求めていると考えられるもの

①親子連れ

- 子供の思い出となるような体験
 - ーレジャー、エンターテイメント的要素
- 子供の興味・関心を育む
 - ー興味・関心の導入、興味・関心を持った後の学習のヒント
- 学校では教えられないこと、親では教えられないことの説明
- 遠方からでも来る
- 記念撮影
- 食事しやすい場所、休憩所、授乳室
- 形に残る思い出ー制作物、プレゼント、グッズ



各層の特徴、求めていると考えられるもの

②高年齢者

- 地元の研究機関を知る一事業、日々の業務の見学
- 若いころの興味・関心一既知をより詳しく
- 写真で記録
- 質問をする一質問しやすい環境
- アクセスしやすさ、構内の移動のしやすさ



各層の特徴、求めていると考えられるもの

③中高校生

- より目的意識を持った見学
 - ーエンターテイメントよりも現実的な体験
- SNSの使用ー発信しやすいアイコン
- 行きやすい雰囲気



今年度の特別公開

※主観

①親子連れ 充実

- 思い出に残る企画が充実—ペットボトルロケット、謎解き等
- マップが見やすく親切—トイレ、授乳室の明記
「お子様も楽しめる」マーク
- わかりやすい撮影スポット
- ×食事スペース混雑—大きいテーブルより小さいテーブルを
たくさん、通路が狭い

今年度の特別公開

※主観

②高齢者 非常に充実

- アクセスが良い、移動しやすいーシャトルバス、構内のバス
- 質問に快く答えてくれる
- 様々な業務を見学できる

③中高生 改善の余地

- ×特別公開全体が子供向けな雰囲気→特別公開は親子連れ、
高齢者向けと考えても？

新たな教育普及・広報活動の提案

(1)夜の筑波宇宙センター見学

○対象

宇宙を舞台にした仕事に就きたいと思っている中高生、大学生。

○内容

筑波宇宙センターの実際の業務の見学。夜でも稼働している部門を見る。

○日時

18:00～等、中高生の**部活終わり**に設定する。

- ▽対象を絞り充実した見学に（中学生のみ、高校生のみにしても）
- ▽部活終わりに設定することで参加のハードル低&夜の見学が可能に

改善点

- 安全性
- 解散時間の設定

新たな教育普及・広報活動の提案

(2) 学校向け講演パッケージ

○概要

- ・ 中高生向けの講演、移動授業のパッケージをいくつか用意（ロケットの飛ぶ仕組み講演、理科の授業に合わせた月の授業など）
- ・ 教員研修 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/) など教員の集まる場で宣伝

▽教員の認知拡大

▽パッケージが用意してあるのでコスト低

▽パッケージから選ぶので教員も選びやすい

問題点

○前提が予想にすぎない。しっかりとしたデータを取る。

→入場者数カウント

→アンケート

(より回答者数を増やすために：

- ・アンケートを書くことでイベントに参加できる
- ・プレゼントを渡す
- ・帰りのシャトルバスで記入する時間を設ける
等)